

1. 授業の概要

(1) 受講生

1年生後期。国語教育専修の必修科目・国際理解教育コースのコース選択科目で、中学・高校教職免許の必修科目。受講生の内訳は、国語教育13名、国際理解教育コース16名、その他23名、計52名。

(2) 目的

日本の近現代文学について、具体的な作品読解を通して、基礎的な理解を得る。特に作品読解の視点を自覚して、将来の「国語」の授業に生かせるようにする。また、文学作品を読み味わう楽しさを実感して、自分の読書生活を充実させる。

(3) 内容

国語教育専修の小学校教員希望の学生を主たる対象として、教科書教材から作品を選んでいるが、5年目の今年度は「スイミー」「ごん狐」「おにたのぼうし」「注文の多い料理店」「ほおずきの花束」「デューク」を取りあげた。

2. 受講生のアンケートから

・興味、関心（実数）

【初年度】5(35名)4(13名)

【今年度】5(43) 4(8)

・わかりやすさ

【初年度】5(30) 4(18)

【今年度】5(46) 4(5)

・教員の意欲

【初年度】5(41) 4(7)

【今年度】5(51) 4(0)

・満足度

【初年度】5(34) 4(14)

【今年度】5(47) 4(4)

3. 受講生の感想から

- ・たくさんの文学作品に触れることができとても楽しかった。隠された作者のメッセージなどを知ることができ、毎回、90分の授業がとても充実していた。
- ・この授業をとって、もっともっと本を読もうという気持ちになれました。作品の中の深い部分にも触れることができ、

本当によかったです。文学作品の一つ一つがこんなにも感動するものだったのかとつくづく思いました。この授業をとって、本当によかったです。

- ・先生の視点や解釈がすごく面白かったです。こんな考え方もあるんだなと発見したり納得したり…色々な見方ができることに気付きました。先生の言葉遣い・表現も、その時々、すごく味わい深く、しみじみと感じられました。
 - ・先生の発想が面白く、色々な考え方があることがよくわかった。その意見を押し付けたりせず、「一つの意見」として提示している点も非常によかった。読んだ作品の種類も豊富で、全然飽きない内容だった。
 - ・小学の時に嫌いで流していた作品をもう一度学ぶ機会を与えていただけたお陰で、好きになれた話や考えさせられた話がたくさんあった。
 - ・しっかり時間をとって感想が書ける点が良いと思う。自分の考え方が確立できる。それをまとめたプリントで、次時に他者の感想に触れることができる点が更に良い。
 - ・様々な作品について、自分の意見と他人の意見を比べることができるところが良いと思いました。教科書に載っている作品ばかりなので、どのように教材研究していけばいいかということがわかったような気がしました。
 - ・いつもたくさんの資料を用意していただき、それを読むのが楽しみでした。
 - ・悪い点は見当たりません。最高でした。世界観が広がったような感じです。また、他人の意見を尊重する大切さも学びました。
- ## 4. 自己評価
- 授業のための教材（文学作品）の読み深めと学生への提示の仕方の工夫とが、自分自身を成長させてくれていたことに、ただただ感謝したい。